

参考資料：岡山縣上道郡古都村史、現代古都の郷、ふるさと古都  
岡山史蹟めぐり（岡山市立西大寺公民館古都分館）、岡山市の地名

## しじかいおのたちしょ 穴甘御野立所

**明治天皇行幸**（行幸：天皇が内裏から他所に移動すること）

明治 43 年吉備の野に陸軍特別大演習挙行の際に、軍統盤のため天皇は本県に行幸せされた。

大本宮を岡山後樂園に定められ、11 月 15 日（演習第 3 日）午前 7 時 20 分大本宮を御出門、午前 7 時 40 分岡山駅御発車、午前 7 時 52 分西大寺駅御着演習統監地である上道郡古都村大字穴甘山王山の御野立所にて行幸せられ、親しく大演習実況を御覧になられた。

### 明治天皇御小憩の跡

明治 18 年 8 月 5 日山陽道御巡幸の明治天皇は御召船横浜丸で犬島に御到着、岡山県差廻しの小蒸気船で上道郡三幡港に御上陸後樂園の行在所に入られた。8 月 6 日県庁、裁判所、岡山医学校を御巡幸、翌 7 日陸路馬車で山陽道を東進せられ、本村大字藤井 913 番安井啓太郎宅にて御小憩された。

### 昭和天皇行幸

昭和 5 年秋 11 月岡山市を中心として特別大演習を吉備の野にて行われ、天皇には親しく群を統監せられた。11 月 17 日観兵式及び賜饌（しせん：天皇から食膳を賜わること）の儀にて陸軍特別大演習は終了した。明治 43 年の大演習当時の御野立所として明治天皇が親しく統監せられた龍賀駐蹕の記念碑に対し 21 年前を追憶せられ、遠く広がる上道の野を御展望せられた。

### 御野立所の規模

上道郡では明治 44 年 1 月工を起し、御遺跡に記念碑を建て桜、楓、松等を植え、小亭を設け、公園風の施設をなし、年々之れに維持を加えていたが、大正 15 年 4 月群制廃止と共に管理を岡山県に移し、それ以後、県において維持経営せられた。

境内には明治天皇御統監の際、天皇旗を立てられた松、大正天皇銀婚式記念の松、皇太子ご成婚記念樹、今上天皇御徴行記念樹がある。

昭和 11 年 11 月 2 日文部省告示第 349 号で史蹟名勝天然記念物保存第一条により、明治天皇穴甘御野立所として史蹟に編入せられた。